

「相模ゴム」少子化とセックスレスでコンドーム事業が萎縮

実業界

11

The Analytical
Magazine
for Economics

2011

創刊60周年

毎月1日発売

昭和27年2月28日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 平成23年11月1日発行 第993号

「東京メトロ」

寝耳に水の政府株放出で
大赤字の都営に
吸収の危機



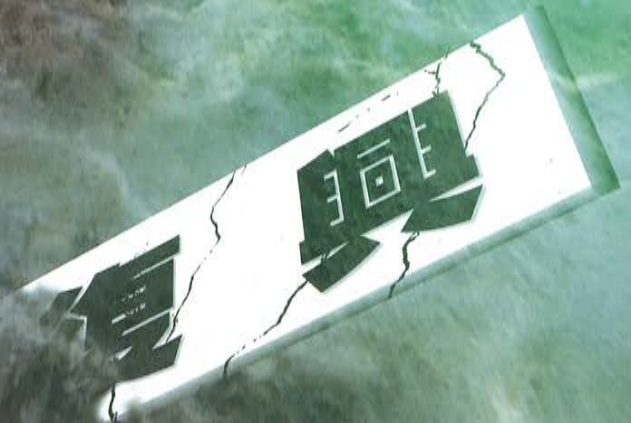
■「SMBC日興証券」

客付き悪くて損も出ず？

霞み始めた総合証券戦略

■成長戦略にも影を落とす

「川崎重工」欠陥トラブル



人生の質を決める「歯の健康」 日本版・「ホームドクター」として 歯科・身体総合医療を目指します



長栄歯科クリニック(草加インプラントセンター)

口腔外科・歯列矯正・インプラント・各種レーザー治療・障害者歯科外来・心療歯科外来
長栄歯科クリニック(草加インプラントセンター)
埼玉県草加市長栄町198 TEL 048-941-8331/FAX 048-941-2341
診療時間 am.10:00~pm.13:00/pm.14:30~20:30 休診日 水・日・祝日

前月号当コラムでは、原因不明の歯痛とその治療法、使用する医療機器について紹介したが、本稿では、具体的な症例について言及したい。

横浜市に住む四十八歳女性、昨年八月に左下奥歯の痛みと顔のしびれを訴えて近所の歯科医院を受診、レントゲンでは異常が見当たらないということで歯

周炎の治療を受けていたが、更に痛みが強くなり食事が取れにくい状態が続いた。不安になり医院を変えてみたが、そこでは奥歯の神経をとる治療をしたのに症状はいつこうに良

くならず、流動食しか受けつげなくなった。さらに睡眠障害にも悩まされ一カ月で体重が四キロも減少した。

その後、歯や歯肉、アゴのみならず身体のうちこちに不調が生じ日常生活もままならない状態になり、私のクリニックを受診した。

近年、私たちのクリニックではこの女性のように、歯の痛みに対して

ストレスは「噛みしめ」が原因だった

十 未病の憂い

歯科医が語る現代版養生訓

歯や歯肉などの一般的な治療をしても症状が改善しない方、さらに悪化する症例は珍しいものではなくなってきた。

このような歯の痛みは「非定形性歯痛」といい、このコラムで紹介してきた「口腔心身症」の一つです。

このような「歯が原因でない歯の痛み」の多くは自律神経が関与しています。歯が原因でないので、歯の治療をしても痛みが取れないのです。そして治療すればするほど症状は複雑化し、その影響は身体全体にまで波及してきます。

このような痛みを訴える人には共通した環境や、考え方、生き方が見受けられます。

この患者さんは一人娘で、七十代の別居しているご両親をいろいろな面で支えています。結婚して子供は二人、下の子は大学受験の真最

歯の痛みから生き方を知り、健康を識る

中、自らも働きながら、最近認知症が疑われる母親と病気がちな父親のサポートをしています。性格はともまじめで物事を一つ一つこなしていくタイプ。家事や仕事、家族の事など、自分の事以外の事でほとんど時間を過ごしています。ストレスがたまらないわけは有りません。

五十歳に近くなると女性は更年期を迎える準備が始まります。自律神経の大きな変化の波を迎える年代です。過度なストレスは自律神経のうちの交感神経の緊張を惹き起します。

このような環境のもとで疲労やストレスをためてしまえば、過度に交感神経を使いすぎると、人はストレス発散のために睡眠中に歯ぎしりや噛みしめを起こします。これにより歯に咬合性の大きな圧力が加わり、慢性的な刺激を受け、歯が痛み始めるのです。これが、虫歯や歯周病が原因でない、いわゆる「歯が原因でない歯の痛み」の正体なのです。

この女性患者さんは、前号コラムで紹介した光線治療器で自律神経のバランスを整え、三カ月ほどの治療で症状が改善、健康を取り戻しました。

まじめな性格や、これはこうしなくてはいけないのだ、こうあるべきだ、といわゆる

「完璧主義」な考えの方が罹りやすい疾患です。この患者さんもそうですが、多くの方が歯の痛みに加え、睡眠障害や頭痛、肩こり、腰痛、耳鳴り、めまい：など色々な全身的な症状を訴えています。

無理な生き方、無理な考え方が身体に反映するのでしょうか。

逆に考えるとこのような症状が出た時は、生き方や考え方を修正するチャンスなのです。

「無理」が仕事であれば少しプレッシャーをかけ、人間関係であれば、「まあいいか」と少し考え方を緩める事が必要でしょう。

現代は管理されたストレス社会です。皮肉にも歯の痛みから生き方の間違いや、自分の健康状態が推測できるのです。

ストレスにより胃が痛くなるという事は昔から言われています。しかし現代人においては「胃は精神の座」のみならず、「口は精神の座」と言えるのではないのでしょうか。

亀井英志(かめいひでし)
1951年群馬県前橋市生まれ。76年東京歯科大学卒業。都立病院歯科口腔外科医を経て、84年より長栄歯科クリニック院長。臨床ゲノム医療学会理事。

